

昭和大学大学院 薬学研究科 担当者及び研究内容一覧表

※平成 25 年 4 月現在

専攻科目	担当教授及び教職員	研 究 内 容
臨床分析化学	教 授 荒川 秀俊 准教授 伊藤 克敏 講 師 佐野 佳弘 助 教 唐沢 浩二	(1) 生体成分及び医薬品の微量分析法：蛍光及び発光反応に基づく分析法の開発と応用 (2) 蛍光及び発光反応に基づく検出法の適用による生体成分の高感度・高選択的分離分析法 (3) 蛍光及び発光反応を用いる酵素イムノアッセイの開発とその応用 (4) アプタマーを用いる特異的分析法の開発 (5) 活性酸素・フリーラジカル分析法の開発とその臨床診断への応用 (6) アロマ・生薬の作用機構の解明
臨床毒性学	教 授 沼澤 聡 講 師 田中佐知子 助 教 芦野 隆 助 教 貝崎明日香	(1) 薬毒物による酸化的ストレス誘導と臓器障害の発現機構 (2) 薬物代謝酵素誘導に関わる転写因子の活性化機構 (3) 酸化ストレス防御システムの血管機能維持に関する研究 (4) 薬毒物による臓器障害の新規バイオマーカー検索とその応用 (5) 生体試料からの乱用薬の迅速確認法及び免疫学的簡易測定法の開発 (6) 乱用薬の中枢毒性発現機構におけるミクログリア活性化の役割
病態生理学	准教授 清水 俊一 講 師 石井 正和 助 教 栗原 竜也	(1) 未解明疾患の病態生理と薬物治療に関する基礎的・臨床的研究 (A) 難治性炎症疾患の機序解明と治療への応用 (B) 頭痛の病態解明と治療への応用 (C) 心疾患の機序解明と治療への応用 (D) 抗悪性腫瘍薬の副作用の機序解明と治療への応用 (2) 臨床疫学的手法を用いた主要疾患の要因解析と合理的な治療法の確立 (A) がん患者の予後予測因子の抽出と薬物治療への応用 (B) 頭痛薬の反応性予測モデルの開発と応用
臨床薬学	教 授 山元 俊憲 准教授 小林 靖奈 助 教 大林 真幸 助 教 神山 紀子	(1) 薬剤師の患者対応と服薬説明に関する調査および介入研究 (2) 薬剤師による治療薬の評価と新規エビデンス構築に関する研究 (3) 炎症性疾患治療薬と臓器障害発生機序の解明に関する研究 (4) 分子標的薬による副作用発症の患者背景に関する後方視的臨床研究 (5) 医薬品による副作用の軽減を目指した情報収集と適正使用に関する研究 (6) 薬物治療の効果の個人差と疾患感受性因子に関する臨床薬理学的研究 (7) 遺伝子多型解析に基づく患者選択と予後予測因子の臨床応用に関する研究
遺伝解析薬学	教 授 中野 泰子 講 師 根来 孝治 助 教 谷岡 利裕	(1) 生活習慣病や炎症性疾患の病態生理および予防・治療マーカーの検討 (2) 生活習慣病や炎症性疾患の分子生物学的解析およびその治療への応用 (3) アレルギー疾患を中心に免疫異常の分子生物学的解析 (4) 疾患関連遺伝子の同定ならびに解析 (5) 医薬品による副作用の予測マーカーの検討（血中マーカーやSNPs） (6) 医薬品作用機構の分子生物学的解析（薬効薬理、副次的薬理作用、副作用等） (7) 感染症の遺伝子定量や解析による予防・治療マーカーの検討
薬物動態学	教 授 佐藤 均 助 教 杉山恵理花 助 教 齊藤 清美	(1) 医薬品の薬物動態と薬力学(PK/PD)解析研究 (2) 医薬品投与設計の最適化研究 (3) ¹³ C-呼吸試験を活用したテーラーメイド医療への薬物動態学の応用 (4) ジェネリック医薬品の薬物動態予測に関する研究 (5) 薬剤師業務の専門性を高めるための医療薬学的研究 (6) 薬物のバイオアベイラビリティを高めるためのDDS 開発研究 (7) 病態の診断・治療を目的とする基礎的・臨床的研究
医薬品情報学	教 授 加藤 裕久 助 教 半田 智子	(1) 白金系抗がん剤オキサリプラチンの静脈注射後の血管痛に関する研究 (2) 日本における抗がん剤治療レジメンの標準化に向けた研究 (3) 乳がん薬物療法に伴う副作用マネジメントに関する研究 (4) がん化学療法における手足症候群対策としての漢方製剤の有用性の検討 (5) 保険薬局、保険薬剤師における在宅緩和ケアへの介入に関する研究 (6) 携帯情報端末（PDA）を利用した医薬品情報の有効活用に関する研究

専攻科目	担当教授及び教職員	研 究 内 容
治療ニーズ探索学	教 授 岩井 信市 講 師 亀井 大輔 助 教 小島 章嗣	治療ニーズ探索学教室では、臨床現場のニーズに基づく薬物使用の問題点に対し、臨床研究と基礎研究の2つのアプローチによる検討を行い、医薬品の適正使用に対する新たなエビデンスを構築し、迅速で的確な医療貢献を目指す。 (1) 顔面神経麻痺の薬物療法に関する研究 ・顔面神経麻痺患者の重症化因子および治療薬の適正使用に関する調査 ・マウス顔面神経麻痺モデルを用いた新規治療薬の検討 (2) 過敏性腸症候群の薬物療法に関する研究 ・過敏性腸症候群の治療不応化因子および治療薬の適正使用に関する調査 ・モデルマウスを用いた過敏性腸症候群の薬効評価の検討 (3) 星状神経節ブロック療法の治療効果に関する研究 ・合併症発現の現状把握とリスク要因に関する調査 ・星状神経節ブロック療法時の鼓膜温変化に関する検討 (4) 抗がん剤点滴時の血管痛発症メカニズムに関する研究 (5) 機能性月経困難症患者に対する薬物の適正使用に関する研究
社 会 薬 学	講 師 赤川 圭子	(1) 一般用医薬品の適正使用に関する研究
感染制御薬学	准教授 石野 敬子 助 教 前田 真之	(1) 抗菌薬の耐性機構に関する研究 (2) 病原細菌の新規病原因子の探索 (3) 抗感染症薬の適正使用に関する研究
実 践 薬 学	教 授 木内 祐二 准教授 三浦 南虎 講 師 佐口 健一 助 教 小林 文	(1) 主要疾患の臨床疫学の理解と合理的な治療のための方法論的研究 ・主要疾患のコホート研究と前向き研究による、薬物反応性、予後ならびに副作用に關与する因子および因子構造の解明 (2) 薬剤師卒前・卒後教育への新規教育手法の導入に関する研究 ・地域や病院でのチーム医療、科学的根拠に基づく薬物治療の立案と実践、プライマリケアや在宅医療における臨床判断、フィジカルアセスメント、災害医療、救急医療などの学習カリキュラム作成
病院薬剤学	教 授 村山純一郎 准教授 齋藤 勲 講 師 渡邊 徹 講 師 阿部 誠治 講 師 向後 麻里 助 教 若林 仁美 助 教 宮野 正広 助 教 大戸 祐治 助 教 岡崎敬之介 助 教 小島 茜 助 教 平藤 彰 助 教 杉沢 諭 助 教 市倉 大輔 助 教 石井亜矢子 助 教 田中 広紀 助 教 八木 仁史 助 教 富家 俊弥 助 教 藤原 久登 助 教 北原加奈之 助 教 臼田 昌弘 助 教 鈴木 康介 助 教 小川 泰葉 助 教 川島 涉 助 教 仁尾 祐太 助 教 内倉 健 助 教 永井 努 助 教 須永登美子 助教(員外) 藤宮 龍祥 助教(員外) 米澤 龍 助教(員外) 森 愛奈 助教(員外) 越塚 宏美 助教(員外) 二村 哲未 助教(員外) 高田 昂輔	(1) UGT1A1 遺伝子多型とイリノテカンの用量変更・副作用発現に関する調査 (2) インターネット情報共有を利用した薬学・薬剤師教育システム開発 (3) 化学療法に伴う口内炎に対するエピガロカテキンガレートアイスボールを用いたクライオセラピーの予防効果についての検討 (4) 放射線および化学療法における口腔粘膜障害へのカテキンの効果 (5) 小児薬用量の設定に関する基礎研究：推定式より算出された投与量と体重換算により算出された投与量の比較 (6) 統合失調症患者に対する心理教育の実施とその評価 (7) 臨床栄養における医薬品の適正使用に関する研究 (8) 新規病院実務実習教育方法の開発と検証 (9) 医薬品適正使用のための DUE (Drug Usage Evaluation) (10) 抗感染症薬の適正使用に関する研究 (11) 主要疾患患者における薬物治療後の効果や副作用・予後に関わる要因の検討 (12) 主要疾患患者における薬物治療の費用効果分析および費用効用 (QOL) 分析

専攻科目	担当教授及び教職員	研 究 内 容
薬 化 学	教 授 伊藤 喬 准教授 永田 和弘 助 教 金光 卓也 助 教 宮崎 倫子	(1) 複素環化学 (2) 不斉有機分子触媒の開発と応用 (3) 新しい不斉合成法の開発 (4) 生理活性天然物の不斉合成 (5) 一酸化窒素 (NO) の有機反応
薬品製造化学	教 授 福原 潔 講 師 熊本 浩樹	(1) 抗ウイルス活性を示す新規核酸系代謝拮抗剤の開発研究 (2) Function-oriented synthesis に基づく新規作用機作を有する核酸系抗菌剤のデザイン、合成と活性評価 (3) 感染症認定薬剤師を指向した抗菌活性を示す核酸系阻害剤の生体内代謝過程の基盤研究とその応用 (4) HIV 感染症薬物療法認定薬剤師を指向した抗 HIV 活性を示す核酸系阻害剤の生体内代謝過程の基盤研究とその応用
生 薬 学 ・ 植物薬品化学	教 授 鳥居塚和生 准教授 高松 智 助 教 福村 基徳 助 教 小松 佑果	(1) 高次中枢機能に及ぼす生薬・漢方処方の影響 (A) 認知症に対する有効性の検討および生理活性成分の探索 (B) 感覚器障害に対する改善効果の検討および生理活性成分の探索 (2) 血液凝固線溶系への影響を指標にした生理活性成分の探索研究 (3) 抗腫瘍作用を有する生薬および含有成分の探索研究 (A) 扁平上皮癌由来細胞の走化性を指標とした検討 (B) ヒト乳がん細胞に対するアポトーシス誘導作用の検討 (4) 抗老化活性を示す生薬および生薬成分の探索 (5) 細胞接着阻害物質の探索研究 (6) 天然由来の抗酸化物質の探索 (7) 伝統医学の国際標準化に資するための文献学的、医史学的検討 (8) 天然由来薬物や伝統医薬の医療情報の取扱に関する調査・研究
衛 生 化 学	教 授 原 俊太郎 准教授 中谷 良人 講 師 桑田 浩 助 教 依田恵美子	(1) アラキドン酸代謝系への影響からみた環境化学物質の新たな毒性発現機構の解析 (2) アラキドン酸代謝系の破綻と神経変性疾患、がん等の生活習慣病発症・進展との関連 (3) 新たなアラキドン酸代謝系の同定と生体内機能の解析
薬品物理化学	教 授 合田 浩明 准教授 北川 康行 助 教 日下部吉男 助 教 梅田 知伸	(1) X線解析による生体高分子の立体構造の解明 (2) 酵素の立体構造と反応機構の相関の研究 (3) 生体高分子ーリガンド系の分子ダイナミックス計算 (4) 解析した酵素の立体構造に基づく合理的薬物設計 (Structure Based Drug Design : SBDD)
薬 剤 学	教 授 中村 明弘 准教授 倉田なおみ 助 教 村山 信浩 助 教 藤田 吉明	(1) 再生治療における薬剤デリバリーシステムの開発 (2) 簡易懸濁法を代表とする経管投薬法に関する研究 (3) 口腔内崩壊錠の崩壊性と使用性に関する研究 (4) 各種製剤の適正使用に影響を及ぼす因子に関する研究 (5) 障害を有する患者の服薬支援に関する研究
腫瘍細胞生物学	教 授 柴沼 質子 助 教 森 一憲 助 教 石川 文博	(1) 癌の悪性化・転移能獲得機構 (足場非依存性増殖能) の解明 (2) 癌の悪性化・転移能の抑制的制御のための分子標的の検索 (3) ミトコンドリア、活性酸素シグナルの癌の悪性化・転移能への関与
薬 理 学	教 授 本田 一男 准教授 大幡 久之 講 師 黄 洋一 助 教 橋本 光正	(1) 創薬薬理に関する研究 (2) 慢性腎不全モデル動物の作製及び治療薬の研究 (3) 虚血性脳血管障害モデルに関する研究 (4) シスプラチン腎症治療薬の研究
生 物 化 学	教 授 板部 洋之 准教授 山口 智広 助 教 加藤 里奈 助 教 笹部 直子	(1) 動脈硬化症の発症機構 (2) 脂質代謝制御における細胞内脂肪滴の意義 (3) リポタンパク質の酸化変性 (4) 歯周組織の炎症と酸化 LDL

薬用植物園	教 授 鳥居塚和生 (兼務)	(1) 薬用植物の栽培研究 (2) 植物の種の保存ならびに、保存に資するフィールド調査研究 (3) 東アジア地区の伝統医学の生薬および西洋ハーブの比較研究 (4) 東アジア地区の伝統医学の概念体系や構造の研究
分析センター	准教授 田中 信忠 助 教 松林 智子 助 教 小田中友紀	(1) 腫瘍細胞運動刺激因子の立体構造解析に基づく阻害剤デザイン (2) インターフェロン誘導型抗ウイルス機構「2-5A システム」における機能制御の構造的基盤の解明 (3) 熱帯熱マラリア原虫酵素群の立体構造解析に基づく阻害剤デザイン

研究内容の一部は変更の可能性あり